

環境保全活動

戦略

リスク

- 気候変動による気温の上昇、海面上昇、大雨などによる対応コスト増加
- 気候変動の影響に伴うサプライチェーンを含む操業停止
- カーボンニュートラル推進に伴ない再生可能エネルギー比率が増加し、エネルギーコスト上昇
- 天然資源枯渇に伴う原材料価格上昇

リスクへの対応

- 環境管理体制構築と ISO14001 認証維持継続
- BCP 対応推進と BCM 体制構築
- 環境目標を設定し再生可能エネルギー比率増加と温室効果ガスの削減を実施
- 新素材の製品開発による天然資源の有効活用

機会

- サステナブルな社会を支える製品開発による新規市場開拓
- サーキュラーエコノミーを推進した循環型社会への貢献
- 地域・社会・コミュニティの持続可能性への貢献

指標および目標

重点テーマ	気候変動への対応
中長期目標	2023 年度実績
■ カーボンニュートラルへの貢献	再生可能エネルギーの導入 2023 年度:7,515MWH (使用電力の 12.7%)

重点テーマ	持続的社会的の実現・発展への貢献
中長期目標	2023 年度実績
■ ステークホルダーとの協働	取引先業者への環境調査の実施 環境活動実施状況の把握 実施対象件数:158 件

地球環境保全への対応

基本的な考え方

FDK グループは、富士通グループの一員として企業の事業活動に伴う環境保全への取り組みについて、各国、地域の法規制や、温室効果ガス削減、廃棄物削減、化学物質の管理の徹底のみならず、提供する製品を通しての環境負荷低減等、地球規模の視点で主体的に持続可能な循環社会実現に向けて行動しなければならないと認識しています。全社的に、より確かな環境経営を推進するため、「FDK グループ労働安全衛生・環境方針」を制定しています。

FDK グループ労働安全衛生・環境方針にもとづく基本方針

- 働く人の全員参加と協議により、労働安全衛生・環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善するとともに労働災害・疾病・環境汚染の予防に努めます。
- 労働安全衛生と環境側面に関わる法令と私たちが同意した地域社会、公的機関、お客様などの要求事項を順守するとともに、自主的な基準を設定し順守します。
- 安全で快適な職場環境のもと、限りあるエネルギーを有効に活用し、社会と環境に貢献する製品およびサービスを提供することを目的に、以下の重点テーマにもとづく行動計画を設定して取り組みます。また、行動計画を定期的に見直し、労働安全衛生と環境のパフォーマンスを継続的に改善します。

①危険ゼロ職場の確立

②清潔で快適な職場環境づくり推進

③健康経営の推進

④安全衛生に配慮した資材調達・設備設計の推進

⑤循環型社会を目指す事業活動の推進

⑥環境に配慮した研究開発と製品設計の推進
- 教育訓練や啓発活動を通じて、全従業員の安全衛生意識と環境意識の向上に努め、職場 5S 活動と業務上および通勤時の交通事故撲滅、並びに緊急事態への準備と対応に取り組みます。また、地球環境に配慮した行動を実践できるよう取り組みます。
- 地域社会、公的機関およびお客様などの利害関係者と良好なコミュニケーションを図るため、積極的な情報開示と対話に取り組みます。

ISO14001 認証取得状況

FDK 株式会社

- 本社・湖西工場・鷺津工場・高崎工場・鳥取工場
- 営業所 首都圏、札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄営業センター

国内グループ会社

- 株式会社 FDK エンジニアリング
- FDK パートナース株式会社

海外グループ会社

- FUCHI ELECTRONICS CO., LTD. (台湾)
- XIAMEN FDK CORPORATION (中国・廈門)
- BAOTOU FDK CO., LTD. (中国・包頭)

カーボンニュートラルへの対応

富士通グループ環境ビジョンでは 2030 年 CO₂ 排出ゼロの目標を掲げています。また RE100 (企業が自らの事業活動の使用電力を 100% 再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアチブ) の目標として、自らの事業活動の使用電力について、再生可能エネルギー比率を 2025 年に 50% 以上、2030 年に 100% としています。FDK グループは富士通全社目標に合わせてカーボンニュートラルへの対応を進めてまいります。2023 年度は FDK グループ全体の使用電力の 12.7% を再生可能エネルギーとして導入しました。

グリーン調達について

FDK グループは、地球環境問題の改善を考え、環境負荷を考慮した事業活動と環境配慮製品の提供により社会の持続的発展に貢献するように取り組んでいます。その取り組みにおいて、お取引先様からの納入品につきましても、環境配慮製品であることが必要不可欠であり、その考え方を「FDK グループグリーン調達基準」にまとめました。FDK グループは、「地球環境との共生」を目指して、環境と調和した製品作りのために、従来からの品質 (Quality)、価格 (Cost)、納期 (Delivery)、サービス (Service) に加え、環境 (Environment) の側面を評価した調達、すなわち「グリーン調達」を推進しています。

* FDK グループグリーン調達基準 第 9.0 版
(https://www.fdk.co.jp/kankyou/green_proc.html)

環境保全活動

FDKグループ労働安全衛生・環境方針

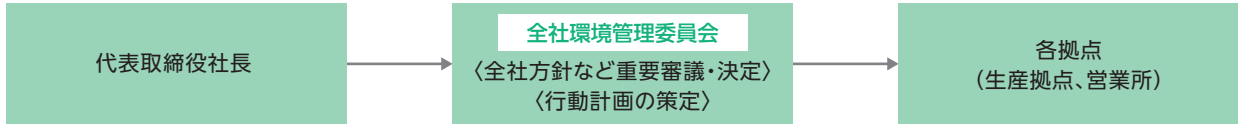
〈基本理念〉

私たちは、人間を尊重し一人ひとりの「生命」と「心」を大切にします。また、Smart Energy Partnerとして先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献します。

当社で働くすべての人の安全と健康を守り、豊かな自然・美しい地球環境を次世代に伝えていきます。

電池、エレクトロニクス関連の素材・部品とそれらの応用製品および各種製造設備の開発・設計・製造・販売において安全第一に徹し、快適な職場づくりと心と身体の健康づくり、環境保護に全員参加と協議により取り組みます。

FDKグループ環境管理体制



基本的な考え方

FDKグループでは、富士通グループ環境行動計画に準拠した計画を策定し、環境への取り組みを推進しています。これらの方針・目標などを通じて、全事業領域にわたり計画的、継続的に環境保全活動を展開し、自社の環境負荷

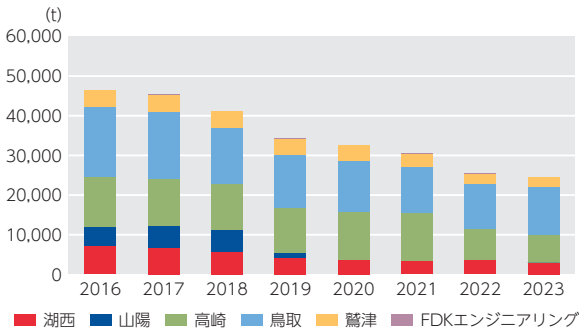
低減に努めるとともに、お客様、社会の環境負荷低減にも貢献してまいります。2023年度は次のような結果となりました。

FDKグループ第11期環境行動計画 2023年度実績

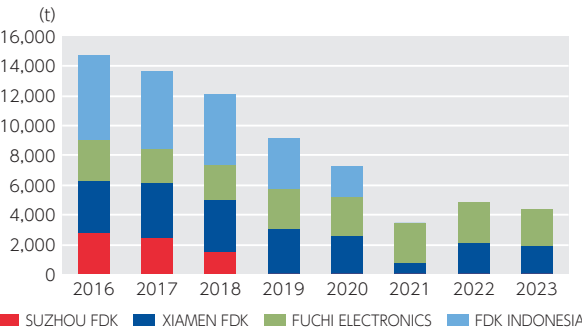
項 目	2023年度 行動計画	全体評価(○or×)
環境配慮設計	省資源化に寄与する製品を開発する(各拠点1件以上)	○
	資源効率向上に寄与する製品を開発する(各拠点1件以上)	○
温室効果ガス削減	国内FDKグループ全体でエネルギー消費CO ₂ 排出量を30,189t以下に抑える ^{*1}	○
エネルギー効率	使用しているエネルギーについて、エネルギー消費原単位を指標として、各拠点で前年度比1%改善する	○
再生可能エネルギー導入	再生可能エネルギーをFDKグループ全体で2030年度に40%導入する（2023年度目標 12%相当）	○
化学物質削減	使用するPRTR法対象物質について、排出量原単位を指標として、各拠点で2023年度末までに2015年度比8%改善する	○
廃棄物削減	発生する廃棄物について、発生量原単位を指標として、各拠点2023年度末までに2015年度比8%改善する	○
水資源保全	水使用量の現状把握	○
地域環境・社会貢献	地域の環境貢献・社会貢献活動の取り組みを、国内FDKグループ全体で年24件以上実施する	○

^{*1} GHGプロトコルにもとづきScope 1とマーケット基準Scope 2の合計として算出。

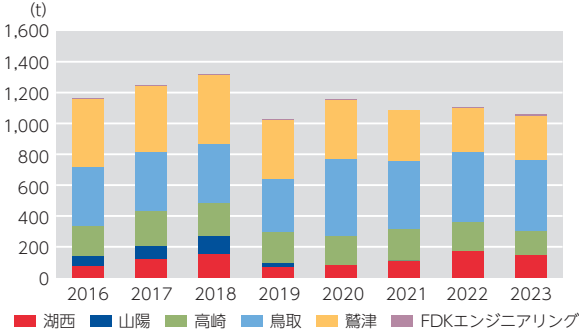
CO₂排出量の推移(国内工場および生産関連会社) 2016年度～2023年度



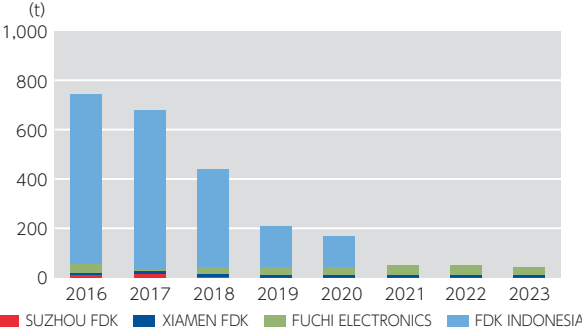
CO₂排出量の推移(海外生産関連会社) 2016年度～2023年度



廃棄物発生量の推移(国内工場および生産関連会社) 2016年度～2023年度



廃棄物発生量の推移(海外生産関連会社) 2016年度～2023年度



山陽は2019年6月までのデータ

SUZHOU FDKは2018年9月までのデータ
FDK INDONESIAは2020年9月までのデータ

事業所(工場および生産関連会社)別環境パフォーマンスデータ

項目	単位	年度	湖西工場	高崎工場	鳥取工場	鷺津工場	FDK エンジニアリング	XIAMEN FDK CORPORATION	FUCHI ELECTRONICS CO., LTD.
CO ₂ 排出量	(t-CO ₂)	2023	2,918	7,022	12,062	2,400	116	1,864	2,510
		前年度	3,486	7,919	11,395	2,512	119	2,067	2,765
水使用量	(m ³)	2023	38,189	20,993	62,058	27,026	457	13,953	10,324
		前年度	50,453	21,212	67,876	35,010	425	15,783	68,672
PRTR対象 物質排出量	(kg)	2023	0	3	0	0	—	—	—
		前年度	0	0	0	0	—	—	—
NOx排出量	(kg)	2023	0	—	422	—	—	—	—
		前年度	61	—	787	—	—	—	—
ばいじん (測定濃度)	(g/Nm ³)	2023	—	—	—	—	—	—	—
		前年度	—	—	0.001未満	—	—	—	—
排水量	(m ³)	2023	38,189	20,156	34,581	27,026	457	11,162	10,324
		前年度	50,453	20,254	34,016	35,010	425	12,626	68,672
廃棄物	(t)	2023	146	154	465	279	14	11	32
		前年度	170	189	456	281	7	10	41

^{*} 「—」は、集計対象外、該当なし、または隔年で測定義務があるもので、当該年度の測定を行っていないものです。

^{*} CO₂排出量は、GHGプロトコルにもとづきScope 1とScope 2の合計として算出しています。購入電力からの換算係数は従来から改めて、国内はマーケット基準、海外については0.57t-CO₂/MWhで算出しております。購入した非化石証書（太陽光）分をCO₂排出量から減算しています。
XIAMEN FDK CORPORATION：2021年度 2,650MWh、高崎工場：2022年度 5,000MWh、2023年度 7,515MWh

^{*} 操業を停止、事業を譲渡した拠点は、上記より除外しております。